

ときめき人

Tokimeki bito

迫愛会 Jr バレーボール スポーツ少年団

地域と一体となり 目指すは全国8強

Profile

2000年結成。小学1年生から6年生まで9人が
在籍する小学生バレーボールチーム。週3回市内
体育館で練習に励む。



今年で結成17年目を迎えた迫愛会ジュニアバレーボールスポーツ少年団。本年2月に、岩沼市で開催された宮城県小学生バレーボール大会新人大会で初優勝し、県内120チームの頂点に立った。2014年には全国大会に出場。県内では強豪としてその名を轟かす。

メンバーは、6年2人、5年4人、3年2人、1年1人の計9人。メンバーは少なく、決して体格に恵まれているわけではない。全員バレーがチームの合言葉だ。袋和人監督は「バレーはボールを床に落とさなければ勝てるスポーツ。体の大きさは関係ない」ときっぱり。「今年のチームは個の能力が多少劣る分、チーム全体でカバーしている。子どもたちだけでなく、保護者、スタッフと正三角形を作って全国を目指す」と、袋監督は2年ぶ

りの全国大会出場への決意を語る。

全国行きに向けて、保護者も万全の態勢を敷く。会場準備や練習支援、また他県での遠征試合資金調達のため、廃品回収を実施。地域の協力もあり、トラック3台分の廃品を集めた。

子どもたちは、保護者や地域の協力に、試合と練習で恩返し。練習では、どんなに厳しくても手を抜かず、泥臭くボールに食らいつく。

主将の三浦彩羽(北方小6年)は「全国に出場した先輩たちは、周囲に声掛けをし、行動が早くチームでまとまっていた。今年は私と山田玲寧がチームをまとめています。私たちがバレーをできるのはコーチ、保護者、地域の皆さんの協力があるからこそ。目標の全国大会8強入りを目指して頑張ります」と力強く決意表明した。

編集後記

▼先月号に掲載しましたが、全国広報コンクールで入選しました。これは、入選号以外でも取材に協力いただいた皆さん、印刷屋の皆さんなど、多くの人の支えがあつてこそ。そして市民の皆さんおめでとうございます。「ToMe」は皆さんが主役。皆さんの取り組みが全国で評価されたんですよ。(及川)

▼今号では老若男女さまざまな人のインタビューを担当。そこで何を書くべきか悩んでいたところ、上司からアドバイス。書きたいことを書くのではなく、その人の何を伝えたいかが大切。改めて書くことの難しさを痛感しました。(千葉)

▼市中総体の取材に行ってきました。どの選手も勝利を目指して奮闘。そこには、気迫溢れるプレーや涙する姿がありました。また、控え選手は出場選手の勝利を祈り、声を枯らすまで応援していました。生徒皆さんが一体となった中総体。団結する素晴らしさを発見しました。(田代)



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

